

## 2. 流域及び河川の概要

金丸川は、久留米市国分町陸上自衛隊敷地周辺の雨水を集め、国分町、西町を流下し、津福本町で右支川池町川を合わせ、古賀坂水門で筑後川河川区域に入る河川である。

その流域は、ほとんどが市街地であり、都市化が進行した河川となっているが、下流域に水田があり、河川水は農業用水として利用されている。

金丸川の右支川池町川は久留米市東町の西鉄久留米駅付近を源に、東北東に市街地の街路に沿って流れ、JR 鹿児島本線久留米駅付近で流路を南東に転じて金丸川に合流する都市河川である。

金丸川・池町川の氾濫域は、南側（筑後川下流方向）に向かって地盤高が低くなっており、東側の地盤高が高くなっていることから、金丸川の最下流左岸からの氾濫流は下流に拡散し、池町川からの氾濫流は拡散せず、河川周辺に湛水する氾濫形態となっている。

金丸川下流端には古賀坂排水機場があり、出水時の筑後川本川水位が高い場合には古賀坂水門を閉め、必要に応じてポンプにより筑後川本川へ排水している。

以下に金丸川と池町川の諸元を示す。金丸川の流域面積は 11.4km<sup>2</sup>、河川延長は 4.1km となっており、筑後川左岸 22.9k 付近に流入する。池町川の流域面積は 4.1km<sup>2</sup>、河川延長は 4.0km となっており、金丸川の右岸に流入する。

表 2-1 金丸川・池町川の河川諸元

河川	流域面積	河川延長	合流先
金丸川	11.4km <sup>2</sup>	4.1km	筑後川左岸 22.9k 付近
池町川	4.1km <sup>2</sup>	4.0km	金丸川右岸

筑後川流域図



金丸川流域図



古賀坂排水機場  
(国管理)

古賀坂排水機場  
排水量：30.0m<sup>3</sup>/s  
(10.0m<sup>3</sup>/s×3台)  
古賀坂水門  
諸元：B14.1m×H3.647m×2門

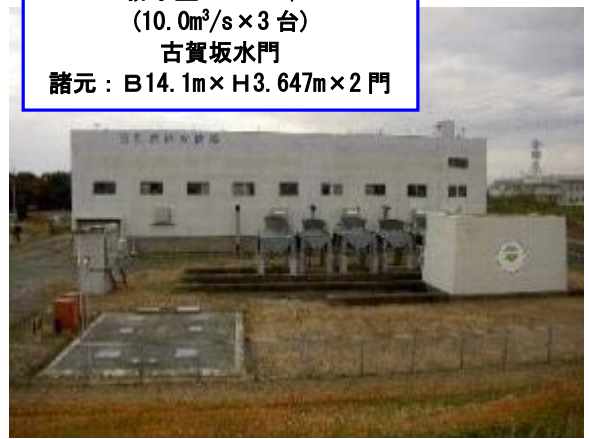


図 2-1 対象区域の位置図(金丸川)



筑後川流域図



池町川流域図

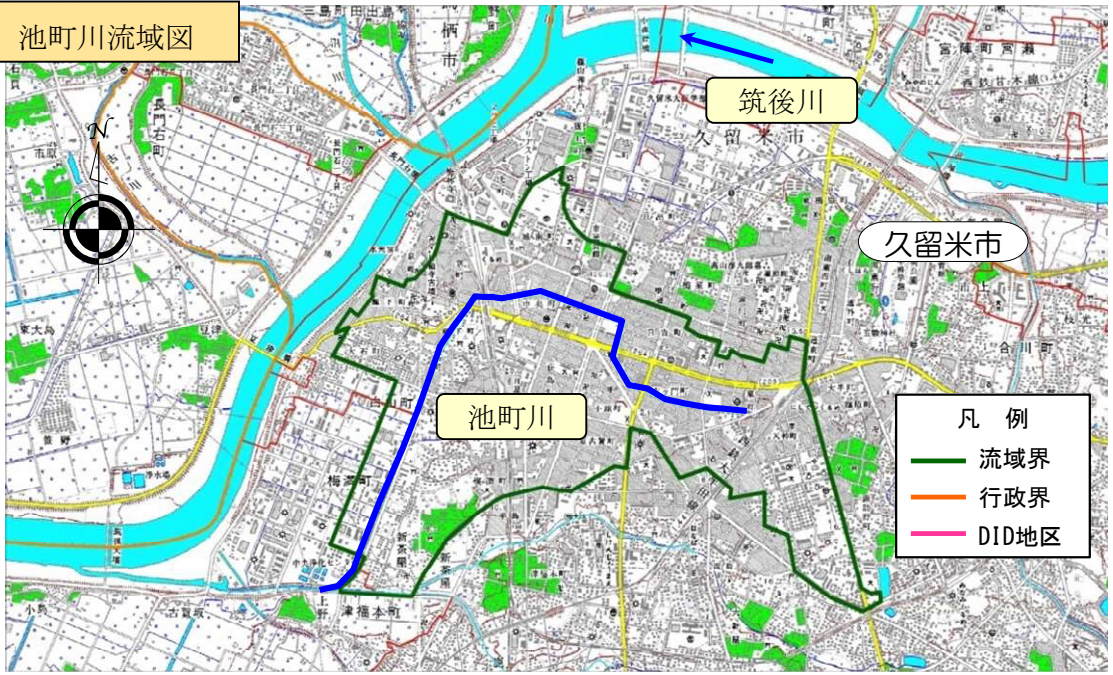


図 2-2 対象区域の位置図(池町川)



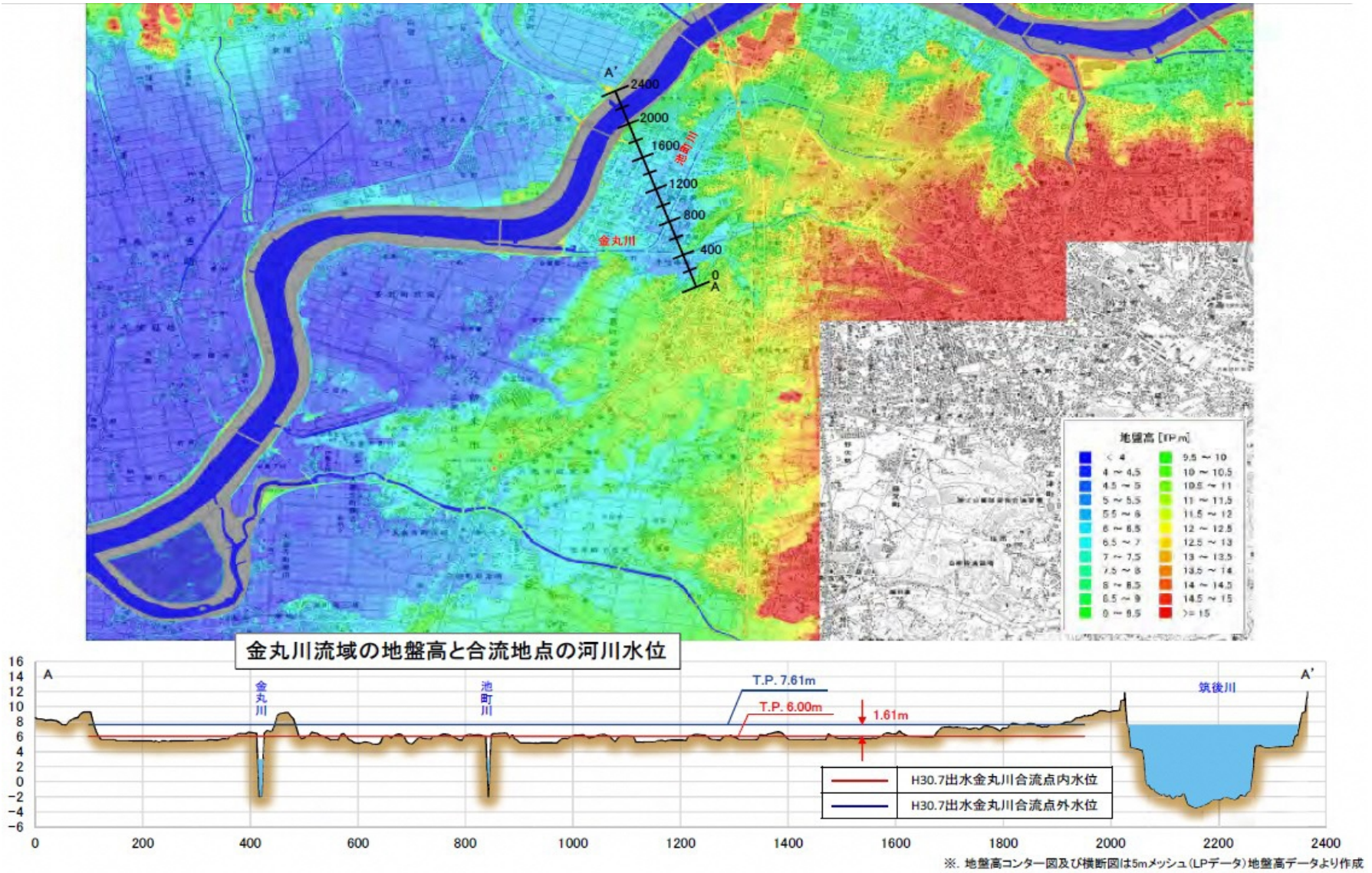
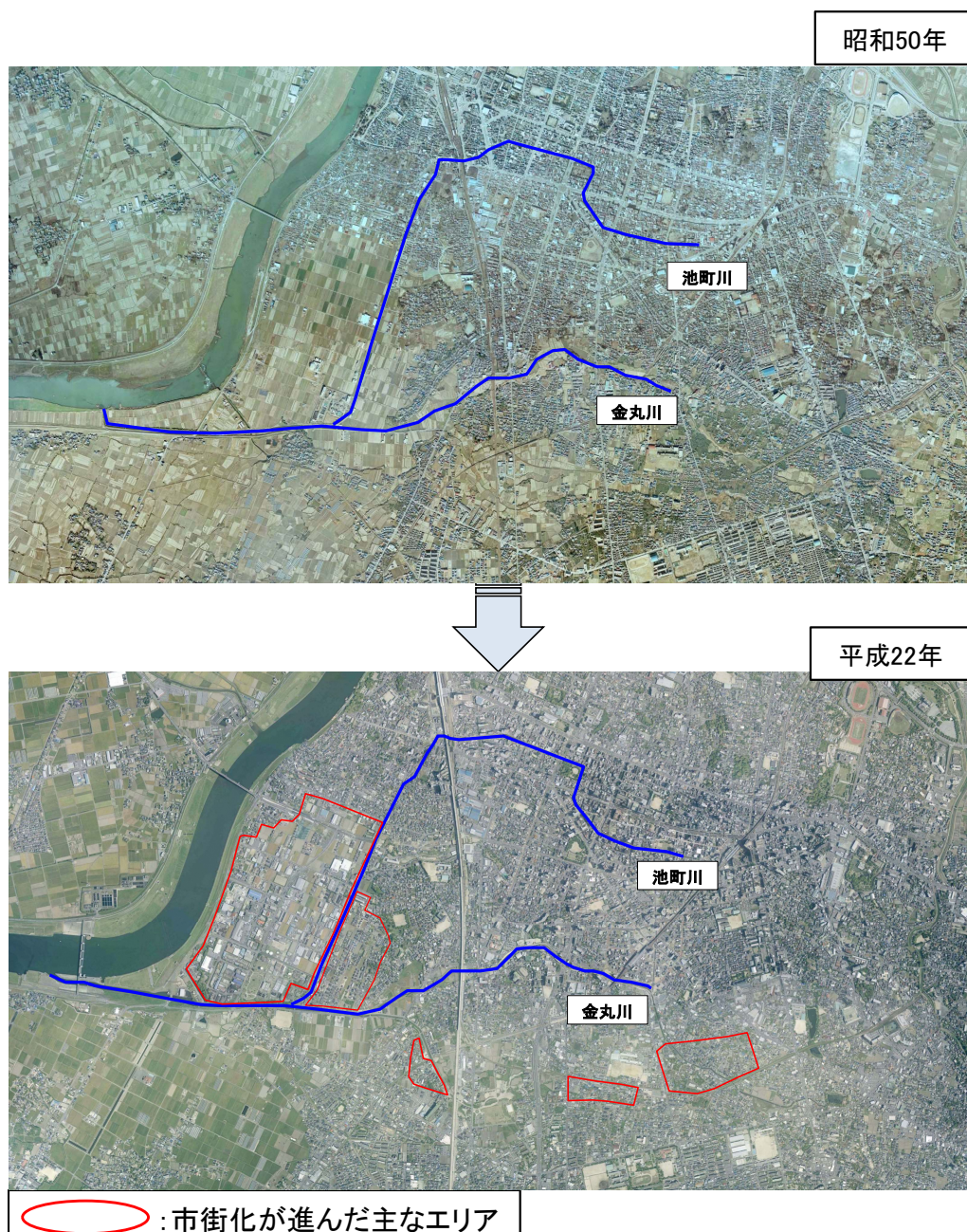


図 2-3 金丸川・池町川流域の地盤高分布図



金丸川・池町川流域の土地利用の変化を見ると、昭和50年と比較して、平成22年は池町川の下流域における右岸側を中心に大きく市街化が進んでいる。



出典：国土地理院

図 2-4 金丸川・池町川流域の土地利用状況の変遷